

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

よりよい未来への第一歩

新型コロナウイルス感染拡大は、私たちの生活を一変させてしまいました。

私たちは、家庭、仕事、学校などでコロナ禍の影響を受け「自分ごと」として今までの生活のあり方や働き方などを考え直すようになったのではないのでしょうか。



経済復興だけに偏らずバランスの取れた新しい未来を築くため、今こそ、SDGsの意識を高めていきませんか。



SDGsには、17の目標があり、さらに169のターゲット（具体的な目標）が掲げられています。

その中にターゲット3.3
「2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。」があります。

2030年までに解決すべき問題として、2015年に国連で採択されたSDGsに示されています。



微力ですが、社会に貢献したい！！

新型コロナウイルス感染症による影響を受けた子どもたちを支援する債券と、発展途上の国を支援している国際協力機構（JICA）の活動資金として、町では保有する資金の一部を「SDGs債（ソーシャルボンド）」に投資・運用しています。詳しくは、町ホームページをご覧ください。

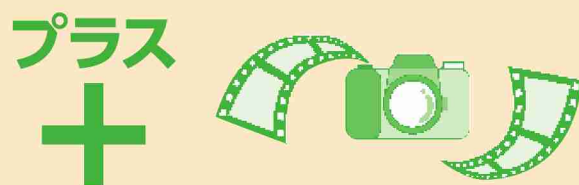
今回の新型コロナウイルスの問題では、健康に関わるゴール3だけでなく、質の高い教育が受けられるように（ゴール4）、多様な働き方が見直され（ゴール8）、また、そのためにITを活用したイノベーションが促進され（ゴール9）、一方では、マスク不足やデリバリーが増えたことから廃プラスチックなど持続可能な生産と消費問題（ゴール12）を考え、個人・地域・国々のパートナーシップにより（ゴール17）コロナの感染拡大防止のための取り組みを進めています。

地球のことを考え、いかに持続可能にしていくか、日々の生活のなかで「自分ごと」として行動に移していきましょう。

- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう



表紙の写真

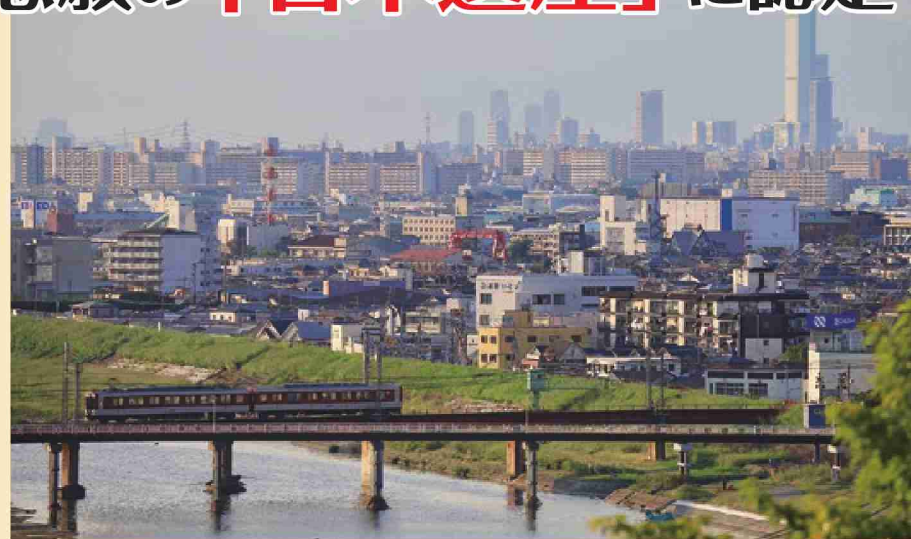


念願の「日本遺産」に認定

もう、すべらせない！！
～ 龍田古道の心臓部「亀の瀬」を越えてゆけ～

万葉の時代から交通の要所であった龍田道。そして、地すべりが頻発した亀の瀬ですが、これらは地域の宝でもあります。

その龍田古道と亀の瀬を日本遺産に一と隣の柏原市とタッグを組み、このたび念願の「日本遺産」に認定されました。来月号では、日本遺産認定発案のきっかけから認定に至るまでの経緯、今後の取り組みなどを特集でお伝えします。お楽しみに。



三郷町の人口【令和2年6月1日現在、(前月比)】

人口 22,940人 (-7人) 世帯数 10,580 (+2世帯) 男 10,907人 (-6人) 女 12,033人 (-1人)

発行・編集：三郷町役場 総務部企画財政課

TEL 0745-73-2101(代) FAX 0745-73-6334 〒636-8535 奈良県生駒郡三郷町勢野西1-1-1

UD FONT UDフォントを使用しています